

映画祭に挑戦する高校生を描く オリジナル作品で初の中部大会へ

三重高演劇部員17人

演目は「虹の向こうへ」

松阪市久保 山田陽一郎、小倉智
町の三重高校 秀、北出真理子 教諭
演劇部(顧問)が、12月23日(日)か

ら4日間、福井県鯖江市で開かれる「第60回中部日本高等学校演劇大会」に出場する。1場も視野に入れ、練習に励んでいる。

おとうと映画祭に挑戦する高校生の奮闘ぶりを描いたオリジナル作品、同校の演劇部員十七人全員が意見を出し



▲県大会で「虹の向こうへ」を演じる演劇部員たち(上・左とも)＝三重高演劇部提供

同部は、今年8月に鈴鹿市で開かれた県大会で桑名西高校とともに最優秀賞を受賞、中部ブロック大会へのキップを手にした。演目の「虹の向こうへ」は、廃部の危機にある映画研究部を救う

けんかのシーン
受身の練習も
さらにランニングや
腹筋運動などで体力を
強化。けんかのシーン

のために受身の練習も
続けたという。また、
演出も、舞台となる部
室に置く小道具など、
細部に徹底的にこだわ
った。
演出を担当した2年
生の下村揚平君は「中
部大会では、観客に感
動してもらえる舞台に
したい」と意欲を見せ
ていた。